



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社カカコム

コード番号 2371 URL <https://corporate.kakaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 畑 彰之介

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 白川 聖明 TEL 03-5725-4554

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	21,746	△26.4	6,877	△49.3	6,579	△50.7	4,329	△52.4	4,442	△51.2	4,345	△51.6
2020年3月期第2四半期	29,529	15.1	13,569	16.1	13,343	14.9	9,100	18.5	9,095	18.8	8,976	12.3

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	21.57	21.56
2020年3月期第2四半期	43.59	43.57

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	63,140	43,606	43,325	68.6
2020年3月期	63,317	43,303	42,909	67.8

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが現時点においては困難なことから、引き続き未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期2Q	206,705,000株	2020年3月期	206,705,000株
2021年3月期2Q	831,158株	2020年3月期	836,558株
2021年3月期2Q	205,870,438株	2020年3月期2Q	208,656,734株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが現時点においては困難なことから、引き続き未定としております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	5
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、次のとおりであります。

売上収益は21,746百万円(前年同期比26.4%減)となりました。これは主として、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い人々の移動を伴う経済活動や企業の活動が制限される中で、価格.com事業のショッピング事業及びファイナンス事業において売上が増加した一方、価格.com事業のサービス事業、食べログ事業及び新興メディア・ソリューション事業における旅行・移動領域の各事業における売上が減少したことによるものであります。

営業利益は6,877百万円(前年同期比49.3%減)となりました。これは主として売上収益の減少及び家賃の増加によるものであります。

税引前四半期利益は6,579百万円(前年同期比50.7%減)となりました。これは主として営業利益の減少及び持分法による投資の減損損失を計上したことによるものであります。

親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,442百万円(前年同期比51.2%減)となりました。

セグメントの業績(内部取引消去後)は、次のとおりであります。

## ① インターネット・メディア事業

当第2四半期連結累計期間のインターネット・メディア事業の売上収益は20,563百万円(前年同期比27.9%減)、セグメント利益は6,557百万円(前年同期比50.5%減)となりました。

## [価格.com]

当第2四半期連結累計期間の売上収益は11,432百万円(前年同期比2.3%減)となりました。

ショッピング事業は、在宅勤務/巣ごもり需要及びVECの利用拡大により、売上が増加しました。サービス事業は、通信領域において海外Wi-Fiレンタルの需要が消失したこと、並びに金融領域において外出を伴う消費機会の減少を受けカードローンの申込件数が減少したこと及びキャッシュレス消費者還元事業の終了に伴いクレジットカードの申込件数が減少したことにより、売上が減少しました。広告事業は、第1四半期連結会計期間において延期又は中止されていた広告出稿が家電メーカーを中心に回復しつつあるものの、消費税増税前に広告出稿が集中した前年同期との比較においては、売上はマイナスとなる水準で推移しました。

その結果、ショッピング事業の売上収益は5,241百万円(前年同期比14.2%増)、サービス事業の売上収益は4,364百万円(前年同期比11.4%減)、広告事業の売上収益は1,827百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

2020年9月度の月間利用者数(※)は5,668万人となりました。

## [食べログ]

当第2四半期連結累計期間の売上収益は6,227百万円(前年同期比51.4%減)となりました。

飲食店販促事業は、第1四半期連結会計期間において無償化した有料プラン契約の料金について、当第2四半期連結会計期間においては請求を再開しました。有料プラン契約店舗数は、9月末日時点で48,100店舗となりました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が解除された後は、衛生対策の実施や混雑回避など感染症の再拡大防止に向けた取り組みの下で外食需要が徐々に回復し、当第2四半期連結累計期間のネット予約人数は646万人(前年同期比63.6%減)となりました。

ユーザー会員事業は有料サービス加入者数の減少、広告事業は広告出稿の延期及び中止により、それぞれ売上が減少しました。

その結果、飲食店販促事業の売上収益は4,693百万円(前年同期比55.4%減)、ユーザー会員事業の売上収益は862百万円(前年同期比29.2%減)、広告事業の売上収益は673百万円(前年同期比37.5%減)となりました。

2020年9月度の月間利用者数(※)は10,767万人となりました。

## [新興メディア・ソリューション]

当第2四半期連結累計期間の売上収益は2,904百万円(前年同期比27.6%減)となりました。

旅行・移動領域のサービス及び娯楽・趣味領域の外出を伴う一部のサービスは新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が解除された後も依然として厳しい状況にある一方で、『求人ボックス』及び『スマイティ』は引き続き売上が増加しました。

② ファイナンス事業

当第2四半期連結累計期間のファイナンス事業の売上収益は1,183百万円(前年同期比16.9%増)、セグメント利益は317百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

(株)カクコム・インシュアランスが運営する『価格.com保険』は主にオンラインによる保険契約の申込が増加したことにより、手数料収入が増加しました。

※ 月間利用者数とは、サイトを訪れた人をブラウザベースで数えた人数であり、1ヶ月の間に複数回訪問した人も1人と数えた場合の正味の人数です。なお、モバイル端末のウェブページ高速表示に伴い、月間利用者数の計測において一部重複が発生していましたが、2018年9月より重複を除外する集計方法に変更しています。また、第三者による自動収集プログラムなどの機械的なアクセスについては可能な限り排除して計測しておりますが、一部は月間利用者数に含まれている可能性があります。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は63,140百万円となり、前連結会計年度末と比較し177百万円減少いたしました。これは主に、その他の流動資産が2,878百万円、使用権資産が550百万円、その他の金融資産(流動)が133百万円それぞれ増加した一方で、現金及び現金同等物が2,197百万円、営業債権及びその他の債権が1,206百万円、持分法で会計処理されている投資が368百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は19,534百万円となり、前連結会計年度末と比較し480百万円減少いたしました。これは主に、その他の流動負債が2,027百万円、社債及び借入金が303百万円それぞれ増加した一方で、未払法人所得税が2,296百万円、営業債務及びその他の債務が843百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(資本)

資本合計は43,606百万円となり、前連結会計年度末と比較し303百万円増加いたしました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益4,442百万円を計上した一方で、剰余金の配当4,117百万円を計上したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ2,197百万円減少し、27,306百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,833百万円(前年同期は10,643百万円の収入)となりました。

これは主に、税引前四半期利益6,579百万円、減価償却費及び償却費1,741百万円、営業債権及びその他の債権の減少による収入1,206百万円を計上した一方で、法人所得税の支払額が4,583百万円、営業債務及びその他の債務の減少による支出が716百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は877百万円(前年同期は2,055百万円の支出)となりました。

これは主に、サーバーで使用するソフトウェアの購入等の無形資産の取得による支出が794百万円、有形固定資産の取得による支出が284百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は5,154百万円(前年同期は3,770百万円の支出)となりました。

これは主に、短期借入金の純増減額が325百万円の増加となった一方で、配当金の支払による支出が4,117百万円、リース負債の返済による支出が1,340百万円あったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言が解除された後、企業の活動や個人消費には持ち直しの動きが見えるものの、全面的な再開には至っておらず、依然として先行きの不透明な状況が続いています。このため2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を合理的に算定することが現時点においては困難であり、引き続き未定としております。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	29,504	27,306
営業債権及びその他の債権	8,394	7,188
その他の金融資産	76	209
その他の流動資産	1,141	4,020
流動資産合計	39,115	38,723
非流動資産		
有形固定資産	2,489	2,416
使用権資産	7,947	8,497
のれん及び無形資産	7,057	7,124
持分法で会計処理されている投資	2,536	2,168
その他の金融資産	3,407	3,313
繰延税金資産	722	785
その他の非流動資産	45	114
非流動資産合計	24,201	24,417
資産合計	63,317	63,140

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,719	1,876
社債及び借入金	443	746
その他の金融負債	186	311
未払法人所得税	4,619	2,323
リース負債	1,514	1,238
従業員給付に係る負債	1,493	1,675
その他の流動負債	1,903	3,929
流動負債合計	12,877	12,098
非流動負債		
社債及び借入金	124	124
リース負債	6,293	6,539
引当金	474	513
その他の非流動負債	246	261
非流動負債合計	7,137	7,436
負債合計	20,014	19,534
資本		
資本金	916	916
資本剰余金	464	463
利益剰余金	43,515	43,836
自己株式	△2,196	△2,182
その他の資本の構成要素	210	292
親会社の所有者に帰属する持分合計	42,909	43,325
非支配持分	394	281
資本合計	43,303	43,606
負債及び資本合計	63,317	63,140



## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	29,529	21,746
営業費用	15,973	14,900
その他の収益	18	47
その他の費用	4	16
営業利益	13,569	6,877
金融収益	20	131
金融費用	38	58
持分法による投資損益	△209	△62
持分法による投資の減損損失	—	308
税引前四半期利益	13,343	6,579
法人所得税費用	4,242	2,250
四半期利益	9,100	4,329
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	9,095	4,442
非支配持分	5	△113
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	43.59	21.57
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	43.57	21.56

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	9,100	4,329
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の純変動	△125	13
純損益に振り替えられることのない項目合計	△125	13
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5	0
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△4	3
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	1	3
その他の包括利益(税効果控除後)	△124	16
四半期包括利益	8,976	4,345
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,971	4,457
非支配持分	5	△113

## (4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	464	40,490	△1,750
会計方針の変更の影響	—	—	△3	—
会計方針の変更を反映した期首残高	916	464	40,487	△1,750
四半期利益	—	—	9,095	—
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益合計	—	—	9,095	—
剰余金の配当	—	—	△3,755	—
自己株式の取得及び処分	—	5	—	144
株式報酬取引	—	—	—	—
その他	—	—	△4	—
所有者との取引額合計	—	5	△3,760	144
期末残高	916	469	45,823	△1,606

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素							
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計			
期首残高	254	△4	1	168	419	40,538	403	40,941
会計方針の変更の影響	—	—	—	—	—	△3	—	△3
会計方針の変更を反映した期首残高	254	△4	1	168	419	40,535	403	40,938
四半期利益	—	—	—	—	—	9,095	5	9,100
その他の 包括利益	△125	5	△4	—	△125	△125	0	△124
四半期包括利益合計	△125	5	△4	—	△125	8,971	5	8,976
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△3,755	—	△3,755
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△46	△46	103	—	103
株式報酬取引	—	—	—	49	49	49	—	49
その他	4	—	—	—	4	—	—	—
所有者との取引額合計	4	—	—	3	7	△3,603	—	△3,603
期末残高	134	1	△4	170	301	45,902	408	46,311

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
期首残高	916	464	43,515	△2,196
四半期利益	-	-	4,442	-
その他の 包括利益	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	4,442	-
剰余金の配当	-	-	△4,117	-
自己株式の 取得及び処分	-	-	△4	14
株式報酬取引	-	-	-	-
その他	-	△1	-	-
所有者との取引額合 計	-	△1	△4,121	14
期末残高	916	463	43,836	△2,182

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						合計	非支配 持分	資本合計
	その他の資本の構成要素								
	その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産の 公正価値の 純変動	在外営業 活動体の 換算差額	持分法適用会 社におけるそ の他の包括利 益に対する持 分	新株 予約権	その他の 資本の 構成要素 合計				
期首残高	△7	△15	△6	238	210	42,909	394	43,303	
四半期利益	—	—	—	—	—	4,442	△113	4,329	
その他の 包括利益	13	0	3	—	16	16	0	16	
四半期包括利益合計	13	0	3	—	16	4,457	△113	4,345	
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△4,117	—	△4,117	
自己株式の 取得及び処分	—	—	—	△6	△6	5	—	5	
株式報酬取引	—	—	—	71	71	71	—	71	
その他	—	—	—	1	1	△0	—	△0	
所有者との取引額合 計	—	—	—	67	67	△4,042	—	△4,042	
期末残高	6	△15	△3	304	292	43,325	281	43,606	

## (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	13,343	6,579
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	1,388	1,741
受取利息及び受取配当金	△20	△4
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△99	1,206
営業債務及びその他の債務の増減(△は減少)	27	△716
その他	21	△371
小計	14,660	8,436
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△5	△24
法人所得税の支払額	△4,017	△4,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,643	3,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△280	△284
無形資産の取得による支出	△667	△794
投資有価証券の取得による支出	△645	△46
敷金及び保証金の差入による支出	△464	△91
その他	2	338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,055	△877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	325
長期借入金の返済による支出	△112	△22
長期借入金の借入による収入	100	—
リース負債の返済による支出	△207	△1,340
配当金の支払による支出	△3,755	△4,117
ストック・オプションの行使による収入	103	5
その他	—	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,770	△5,154
現金及び現金同等物に係る為替変動の影響額	5	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,824	△2,197
現金及び現金同等物の期首残高	26,422	29,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,245	27,306

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。